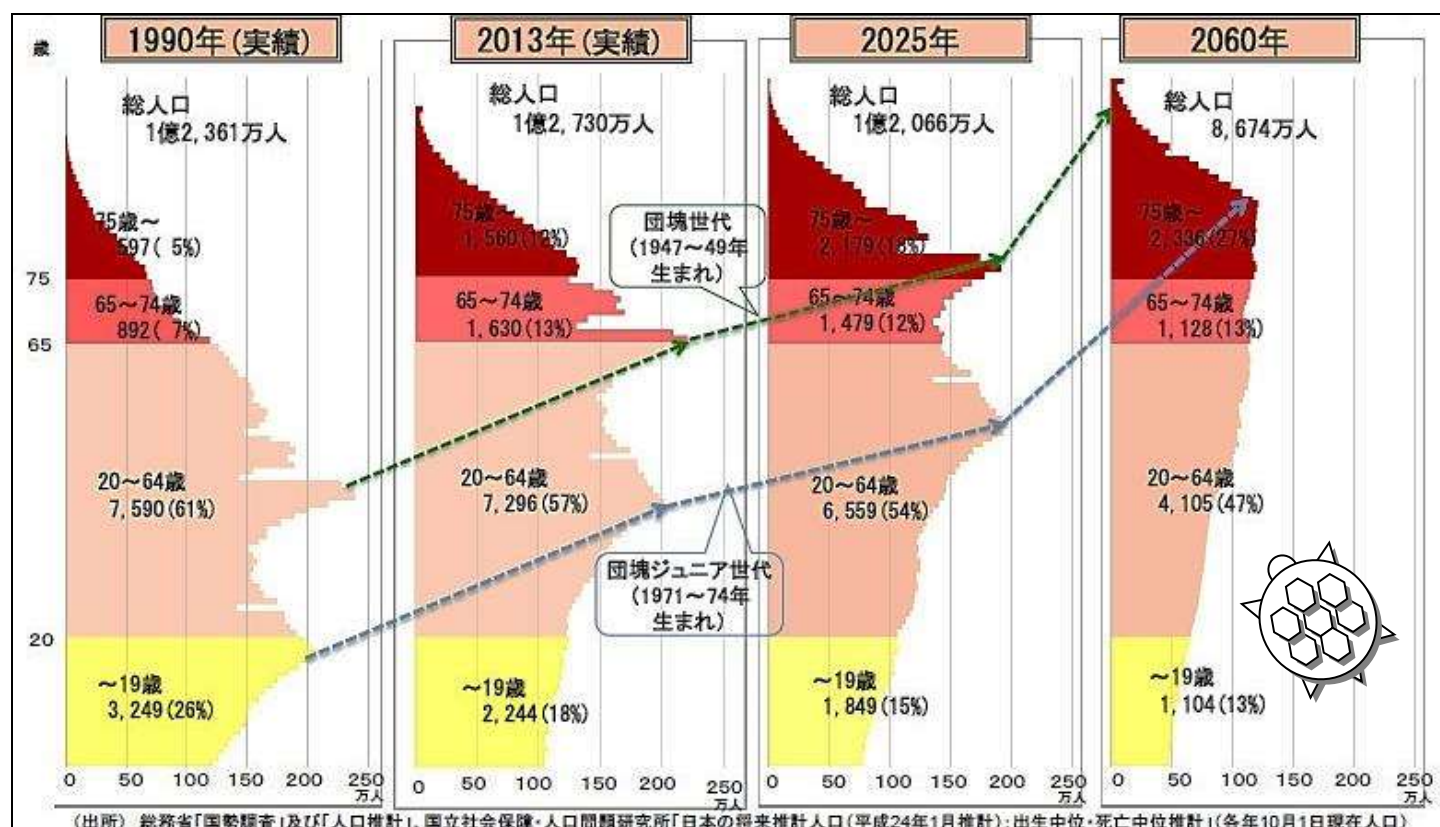


桜が季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか！

亀のように歩みは遅くとも、『お金力』をしっかり・確実に身に付けていただく【亀さん通信】第 126 号発信！

唯一生き残ることができるのは変化できる者である！

今回はいつもと趣向を変えまして、私が毎日必ず見るようにしている「あるもの」をご紹介します。それではどうぞ！



いかかでしょう？国立社会保障・人口問題研究所による「日本の将来推計人口」です。2013年には25%だった65歳以上人口の割合が、2025年には30%、2060年には40%に！総人口にいたっては、1億人を下回って8,674万人まで減少します。しかも、この数字は中位推計ですから、低位推計ならばさらに厳しい状況に。おそらくは今の常識がほとんど通用しない時代になっているはず。私たちが老後を迎えたそのとき、年金制度や医療制度は現在の形を維持できているのでしょうか？

進化論で知られるダーウィン曰く、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることができるのは、変化できる者である」。現在の社会に自分を適応させるのではなく、世の中はこうに変わっていくだろうと思われる未来の環境に適応していくこと。それが非常に大切です。人は今ここ、つまり今の自分と今の自分を取り巻く環境だけに目を向けてしまいがちですが、着目すべきは、数年先、十年先、あるいは数十年先がどのように変化しているか。未来への変化の芽は、今の現実の中で既にその兆しを現しているはずです。現実をよく見ることで、未来を読み取っていかなければなりません。そうした芽の中でも、間違いなく伸びていくもの、即ち100%確定的にやってくる未来は人口変動でしょう。少子高齢化といわれて久しいですが、ご覧のように事態はこれから一層進展します。そんなことは分かっている、とは言いながら、明確に数字で、ないしは具体的なイメージとして持っている人は極めて少ないように思われます。老後のために今から何をするのか？この図を見て恐怖し、私は毎日考えています。

今年もツバメは来てくれるかなあ？春の楽しみのひとつです！

(株)亀山保険事務所 亀山裕弘(ミルロ) 1級ファイナンシャル・プランニング 技能士 0575-28-2768 info@kameyama-hoken.com